平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年７月31日

上場会社名　　株式会社シーボン　　上場取引所　東
コード番号　　4926　　ＵＲＬ　http://www.cbon.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役兼執行役員社長　　（氏名）金子 靖代
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役兼執行役員　　（氏名）諏佐 貴紀　　ＴＥＬ　044-979-1234

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月９日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	3,676	4.0	307	25.3	326	23.0	230	46.5
25年３月期第１四半期	3,535	△0.7	245	△12.5	265	△9.6	157	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	56.30	56.18
25年３月期第１四半期	37.88	37.87

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第１四半期	11,330	8,667	76.5	2,103.04
25年３月期	11,239	8,581	76.3	2,097.13

（参考）自己資本　　26年３月期第１四半期　　8,664百万円　　25年３月期　　8,574百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	40.00	－	40.00	80.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		40.00	－	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	7,310	4.2	550	18.7	584	17.2	344	22.6	83.85
通期	14,732	4.1	1,135	29.5	1,202	29.3	701	42.2	170.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	4,263,000株	25年３月期	4,243,000株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	141,459株	25年３月期	151,059株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	4,099,158株	25年３月期１Ｑ	4,158,182株

当社は、平成24年３月15日開催の取締役会において、「従業員持株会信託型ＥＳＯＰ」の導入を決議しております。当該信託にかかる従業員持株会信託口が所有する当社株式については、当第１四半期累計期間における貸借対照表において自己株式として処理していることから、期末自己株式数には当該株式数（26年３月期第１四半期141,300株）を含めて記載しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報　(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策による円安と株高が進んだ結果、製造業を中心とした企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどにより、着実な回復が見られましたが、海外経済の下振れや雇用・所得情勢の先行き不透明感等により、依然として予断を許さない状況が続いております。

こうした経営環境の中、当社は「顧客数の拡大」を経営指針として、平成25年３月期から平成27年３月期までの新中期経営計画をスタートし、ブランド力の強化等による新規顧客の獲得とともに、顧客満足度の向上による既存顧客のロイヤルカスタマー化を推進しております。

当第１四半期累計期間におきましては、新規顧客の獲得及び認知度向上を図るため、東京スカイツリー等の話題スポットでのイベントプロモーションを行うとともに、大手通販会社等の顧客網を活用した来店誘導やＷＥＢブランディングを展開してまいりました。既存顧客につきましては、季節に対応した美白キャンペーンや定期的に店舗へご来店いただける企画の実施に加え、ポイントシステムの充実を図るため、フェイシャルケア以外のサービスを提供する店舗を順次拡大してまいりました。また、メールアンケートを積極的に活用したきめ細やかなサービスを提供し、顧客満足度の向上を常に意識した接客に努めてまいりました。

製品におきましては、下記のとおり期間限定製品等を発売いたしました。

・４月：白く透明感のある肌を目指すための美白スキンケアライン『ホワイトシリーズ』をバージョンアップして発売。また、同シリーズに限定品の泡洗顔料『ブライトアップクリアウォッシュ』を追加した期間限定セットをあわせて発売。
　ハリのあるデコルテ・首元を目指す『デコルテクリームＳ』を新発売。
　美と健康をサポートするキウイフルーツ味の健康飲料『酵素美人-緑』をバージョンアップして発売。
・５月：紫外線等によるダメージ肌に働きかけるサロンケア専用のスペシャルケアセット『ＳＰＡ　ＰＪ-W』をバージョンアップし、期間・数量限定で発売。
・６月：４月の期間限定セット用に発売した『ブライトアップクリアウォッシュ』を通常製品として発売。
　美と健康をサポートする甘酸っぱく爽やかなイエローパッションフルーツ味の健康飲料『酵素美人-黄』を新発売。

以上の販売活動を実施した結果、直営店舗における売上高は3,572,873千円（前年同期比4.0％増）となりました。

この結果、当第１四半期累計期間の業績は、売上高3,676,213千円（前年同期比4.0％増）、営業利益307,373千円（前年同期比25.3％増）、経常利益326,435千円（前年同期比23.0％増）、四半期純利益230,763千円（前年同期46.5％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第１四半期会計期間末の資産は11,330,013千円となり、前事業年度末に比べて90,826千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少（前事業年度末比86,019千円減）、売掛金の増加（前事業年度末比131,012千円増）、有価証券の減少（前事業年度末比50,105千円減）、商品及び製品の増加（前事業年度末比30,101千円増）、原材料及び貯蔵品の増加（前事業年度末比50,848千円増）、建設仮勘定等のその他有形固定資産の増加（前事業年度末比228,212千円増）、投資有価証券等の投資その他の資産の減少（前事業年度末比192,474千円減）によるものであります。

（負債）

当第１四半期会計期間末の負債は2,662,244千円となり、前事業年度末に比べて4,394千円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等の減少（前事業年度末比127,562千円減）、未払金等のその他流動負債の増加（前事業年度末比168,092千円増）によるものであります。

（純資産）

当第１四半期会計期間末の純資産は8,667,769千円となり、前事業年度末に比べて86,432千円増加いたしました。その主な要因は、資本金の増加（前事業年度末比17,210千円増）、資本剰余金の増加（前事業年度末比17,210千円増）、利益剰余金の増加（前事業年度末比61,049千円増）、自己株式の減少（前事業年度末比14,937千円減）によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第１四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ87,752千円減少し、当第１四半期会計期間末には2,122,578千円（前年同期比12.8%増）となりました。

当第１四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は11,274千円（前年同期は81,791千円の資金を使用）となりました。これは主に、税引前四半期純利益372,624千円、減価償却費65,132千円、売上債権の増加131,012千円、法人税等の支払額236,978千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期累計期間において、投資活動の結果獲得した資金は3,317千円（前年同期は77,944千円の資金を使用）となりました。これは主に、有価証券の償還による収入50,000千円、有形固定資産の取得による支出261,937千円、投資有価証券の売却による収入220,254千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は102,344千円（前年同期比42.1%減）となりました。これは主に、自己株式の売却による収入14,937千円、配当金の支払額147,537千円、ストックオプションの行使による収入30,800千円によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年５月９日付「平成25年３月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表いたしました第２四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,210,331	3,124,311
売掛金	1,130,897	1,261,909
有価証券	100,230	50,125
商品及び製品	331,938	362,039
仕掛品	95,473	105,664
原材料及び貯蔵品	390,026	440,875
その他	397,805	374,367
貸倒引当金	△704	△786
流動資産合計	5,655,997	5,718,505
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,127,744	2,123,860
土地	1,378,554	1,378,554
その他（純額）	407,781	635,993
有形固定資産合計	3,914,079	4,138,407
無形固定資産	124,340	120,815
投資その他の資産		
その他	1,570,067	1,377,593
貸倒引当金	△25,298	△25,308
投資その他の資産合計	1,544,769	1,352,284
固定資産合計	5,583,189	5,611,508
資産合計	11,239,186	11,330,013
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,091	136,293
未払法人税等	254,187	126,624
賞与引当金	23,703	6,793
役員賞与引当金	17,400	16,750
ポイント引当金	458,023	450,276
その他	1,056,476	1,224,568
流動負債合計	1,949,881	1,961,305
固定負債		
長期借入金	235,756	235,756
資産除去債務	272,530	273,592
その他	199,681	191,590
固定負債合計	707,968	700,938
負債合計	2,657,850	2,662,244

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	449,547	466,757
資本剰余金	333,447	350,657
利益剰余金	7,984,596	8,045,645
自己株式	△235,028	△220,090
株主資本合計	8,532,562	8,642,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,022	21,667
評価・換算差額等合計	42,022	21,667
新株予約権	6,751	3,131
純資産合計	8,581,336	8,667,769
負債純資産合計	11,239,186	11,330,013

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	3,535,412	3,676,213
売上原価	636,817	654,742
売上総利益	2,898,594	3,021,471
販売費及び一般管理費		
従業員給料	1,041,799	1,038,426
その他	1,611,519	1,675,670
販売費及び一般管理費合計	2,653,319	2,714,097
営業利益	245,275	307,373
営業外収益		
受取利息	2,101	2,142
受取配当金	4,292	4,449
受取家賃	12,171	12,171
その他	1,956	668
営業外収益合計	20,522	19,432
営業外費用		
支払利息	237	322
社宅等解約損	76	－
その他	26	47
営業外費用合計	339	369
経常利益	265,458	326,435
特別利益		
投資有価証券売却益	－	46,315
特別利益合計	－	46,315
特別損失		
固定資産除却損	957	126
特別損失合計	957	126
税引前四半期純利益	264,500	372,624
法人税、住民税及び事業税	66,230	115,383
法人税等調整額	40,758	26,477
法人税等合計	106,989	141,861
四半期純利益	157,511	230,763

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	264,500	372,624
減価償却費	69,375	65,132
貸倒引当金の増減額（△は減少）	29	91
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	100	△650
賞与引当金の増減額（△は減少）	△19,215	△16,910
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△7,182	△7,747
受取利息及び受取配当金	△6,394	△6,592
支払利息	237	322
固定資産除却損	957	126
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△46,315
売上債権の増減額（△は増加）	△158,846	△131,012
たな卸資産の増減額（△は増加）	△23,821	△91,141
仕入債務の増減額（△は減少）	△31,090	△3,798
その他	145,926	106,961
小計	234,578	241,092
利息及び配当金の受取額	8,595	7,160
法人税等の支払額	△324,965	△236,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	△81,791	11,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△501,732
定期預金の払戻による収入	500,000	500,000
有価証券の償還による収入	－	50,000
有形固定資産の取得による支出	△31,050	△261,937
投資有価証券の取得による支出	△50,000	－
投資有価証券の売却による収入	－	220,254
敷金及び保証金の差入による支出	△9,033	△1,070
敷金及び保証金の回収による収入	14,597	578
その他	△2,457	△2,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,944	3,317
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	310,000	－
自己株式の取得による支出	△309,955	－
自己株式の売却による収入	5,601	14,937
配当金の支払額	△182,404	△147,537
ストックオプションの行使による収入	－	30,800
その他	－	△545
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,757	△102,344
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△336,493	△87,752
現金及び現金同等物の期首残高	2,217,768	2,210,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,881,275	※ 2,122,578

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。